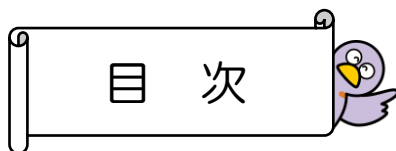


令和2年度 北部教育事務所
「指導と評価の一体化」
のための具体事例



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」

令和2年6月
埼玉県教育局北部教育事務所



1. 小学校

国語	1
社会	2
算数	3
理科	4
生活	5
音楽	6
図画工作	7
家庭	8
体育	9
外国語	10
外国語活動	11

2. 中学校

国語	12
社会	13
数学	14
理科	15
音楽	16
美術	17
保健体育	18
技術分野	19
家庭分野	20
外国語	21



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第5学年及び第6学年（2）情報に関する事項等 「読書に関する情報を読んで活用しよう」（第5学年）

目標 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。

学習活動

新聞記事中にある関連する内容を表す語句に印を付けるなどして、情報と情報との関係を捉え、分かったことを整理して簡単な図にまとめる。

評価

情報と情報との関連付け方や図などによる関係の表し方を理解して使っており、印の付け方に独自の工夫が見られたり、分類の明確さが際立っていたりする児童を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第1学年及び第2学年「A 話すこと・聞くこと」 「夏休みの思い出を報告しよう」（第2学年）

目標 相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づいて、話す事柄の順序を考えることができる。

学習活動

夏休みの思い出を友達に報告するためには、どのような順序で話したらよく伝わるかを考え、その理由を書く。

評価

順番を考える際に、時間的な順序や事柄の順序を考えるとともに、聞き手に与える印象や効果まで含めた理由を記述している児童を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第5学年及び第6学年「B 書くこと」 「世代による言葉の違いについて意見文を書こう」（第6学年）

目標 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

学習活動

文章構成表に基づいて下書きしたものを読み合う中で、友達や教師から得た助言を踏まえて下書きを修正し、それを基に清書する。

評価

自身の文章を振り返り、友達や教師と交流した際に得た指摘や助言を踏まえて、書き表し方をさらに良いものにしようと粘り強く試行錯誤する様子が見られた児童は「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年（4）市の様子の移り変わり

目標 高速道路ができる前とできた後の市の様子を、写真や地図などで調べ、土地利用の様子や人々のくらしが変化したことを理解することができる。

学習活動

2枚の地図を比較して、高速道路ができたことによる市の様子の変化を調べる。

評価

写真や地図から地域の変化を読み取ることができれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第5学年（2）米作りのさかんな地域

目標 学習したことを基に、農業の仕組み、農家の工夫や努力について考えたことを説明することができる。

学習活動

学習したことを図に整理し、消費者、農家の工夫や努力、技術の向上、農家への支援の仕組み、価格や費用との関連を話し合う。

評価

「農業に見られる仕組み、工夫や努力について、学習したことを基に役割や働きを考えていること」に加え、「国民生活の向上や、携わる人の思いや願いを考えていること」も記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年（3）事故や事件から人々の安全を守る

目標 学習したことを基に地域や自分自身を事故や事件から守るために自分たちができることを考えようとする。

学習活動

地域の安全を守るために自分ができることを選択・判断し、伝え合う。

評価

「学習したことを基に考えていること」「地域の一員として自分ができることについて考えていること」を記述していれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年「A 数と計算」（4）除法

目標 包含除や等分除など、除法の意味について理解し、それらが用いられる場面について知り、その計算ができる。

学習活動

評価問題に取り組む。

≪評価問題≫

27mのなわを4mずつ切って、
なわとびのなわをつくります。
何本とれて、何mあまりですか。

評価

式が立てられたら、「包含除や等分除など、除法の意味について理解し、それらが用いられる場面について知っている」について「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導
の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第3学年「D データの活用」（1）表と棒グラフ

目標 データをどのように分類整理すればよいかについて、解決したい問題に応じて観点を定めることができる。

学習活動

分かりやすい整理の仕方について意見を交流して共有する。途中で友達の分類整理の様子を互いに見て回り、よい方法を共有する。

評価

観点を決めて整理することのよさを、自らの整理の仕方に生かしている姿を捉えて評価する。工夫して整理している児童の姿や友達の並べた様子を見て、更に工夫している児童の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導
の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第5学年「B 図形」（3）平面図形の面積

目標 見いだした求積方法や式表現を振り返り、簡潔かつ的確な表現に高めようとする。

学習活動

黒板に残っている解決方法を一通り振り返る中で、「公式がつかれるのではないか」ということに気付き、改めて自力解決に取り組む。

評価

一つの解決方法を根拠に考えようとしている場合には「おおむね満足できる」状況であり、幾つかの解決方法を根拠に考えようとしている場合には「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導
の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第4学年「A 物質・エネルギー」（1）空気と水の性質

目標 空気と水の性質について、器具などを正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を分かりやすく記録することができる。

学習活動

「とじこめた空気と水を入れて力を加えると、それぞれの体積はどうなるだろうか」という問題に対して、注射器を使って実験を行い、結果をまとめる。

評価

実験を正しく行い、問題解決につながる記録をした児童を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第6学年「B 生命・地球」（2）植物の養分と水の通り道

目標 植物について、観察、実験などを行い、体のつくり、体内の水などの行方及び葉で養分をつくる働きについて、より妥当な考えをつくりだし、表現するなどして問題解決することができる。

学習活動

「植物の体の中に運ばれた水は、どこから出ていくのだろうか」という問題について、観察結果をもとに、みんなの考えを聞いた上で自分なりに考えたことを書く。

評価

他者の考えも踏まえて、複数の結果からより妥当な考えを表現していた児童を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第5学年「B 生命・地球」（3）流れる水の働きと土地の変化

目標 流れる水の働きについて、学んだことを学習や生活に生かそうとする。

学習活動

課題に対して、個人で考えをワークシートに記入したあと、グループの話合いで意見を共有する。
※友達の考えを聞いて加筆するときは、赤鉛筆を使用し、自己の考えを見直し、変容の様子が見えるようにする。

評価

ワークシートの記述や話合い活動で、自分の考えを見直し、流れる水の働きを対策に生かそうとしている児童を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第2学年（7）動植物の飼育・栽培

目標 モルモットを飼育する活動を通して、モルモットに合った世話の仕方があることや生命をもっていること、成長していることに気付くことができる。

学習活動

モルモットの世話を続け、気付いたことや、感じたことを絵や文で表現し友達と伝え合う。

評価

モルモットを観察しながら、繰り返し触ったり、えさを与えたりしながら、感触や体のつくり、行動面の特徴など様々な視点から気付いていることを友達に話したり、記録カードに書いたりしている児童の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第2学年（4）公共物や公共施設の利用

目標 公共物や公共施設を利用する活動を通して、それらのよさを感じたり働きを捉えたりすることができる。

学習活動

地域の図書館に出かけ、本を読んだり、借りたりするなどしたことを学校で振り返り、気付いたことなどを話し合う。

評価

公共施設の利用を通して、公共施設のよさを感じたり、様々な働きを捉えたりしている。また、記録カードをもとにみんなで使うものであることなど考え、それらを利用しようとしている児童の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第1学年（2）家庭と生活

目標 家庭生活に関わる活動を通して、自分の役割を積極的に果たし、規則正しく健康に気を付けて生活しようとする。

学習活動

ワークシートにまとめた自分と家族の一日の生活で気付いたことを話し合う。

評価

自分のしていることと、家の人がしていることを比べながら、自分の役割を積極的に果たしたり、規則正しく健康に気を付けていたりしている。また、家庭生活をよりよくするために自分の取組を見直し、自分に自信をもって生活しようとしている児童の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】 第1学年及び第2学年「A 表現」(3) 音楽づくり 「がっきのおとをたのしもう」(第1学年)

目標 打楽器による音遊びを通して、様々な音の特徴に気付くことができる。

学習活動

一人一つの打楽器をもち、順番に音を鳴らしたり、友達が打った音を模倣したりして、自分が見付けた「すてきなおと」を絵や言葉で書き、紹介し合う。

評価

自分の気に入った打楽器について音の特徴を捉えた言葉で表し、音を聴いた時に感じた気持ちと関わらせて記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】 第5学年及び第6学年「A 表現」(3) 音楽づくり 「和音に合わせて旋律をつくろう」(第5学年)

目標 和音の響きやその移り変わり、和音と旋律との関わりについて考えながら、全体のまとまりを意識した旋律を工夫し、音楽の縦と横との関係を用いて旋律をつくることができる。

学習活動

和音と旋律との関わりや全体のまとまりを考えながら、C-F-G-Cの和音進行で8小節の旋律をつくる。

評価

音楽の縦と横の関係に加えて、旋律やリズムについても考えながらつくっていれば、「十分満足できる」状況と評価する。
例：フレーズを山のようにして、次の音へのつながりを意識した。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】 第3学年及び第4学年「B 鑑賞」(1) 鑑賞 「地域の祭り囃子に親しもう」(第3学年)

目標 祭り囃子の音楽の特徴に興味をもち、祭り囃子の学習についての見通しをもとうとする。

学習活動

どのような場面で聴こえてくる音楽なのかを想像しながら、「葛西囃子」を聴き、和楽器の音色、リズムとの関わりなど分かったことを伝え合う。

評価

「葛西囃子」の鑑賞や紹介文から、自分の地域の祭り囃子について、今までの生活体験からどのような音楽が想起したり、知らないことを認識したりしていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

※全ての事例の内容に共通事項(1)が含まれます。

《参考資料》「指導と評価の一体化」ための学習評価に関する参考資料(小学校音楽)【国立教育政策研究所】

埼玉県小学校教育課程指導・評価資料【埼玉県教育委員会】



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年及び第4学年「絵や立体、工作」「鑑賞」 「のこぎりザクザク生まれる形」（第3学年）

目標 木やのこぎりを適切に扱うとともに、前学年までの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて工夫して表することができる。（技能）

学習活動

のこぎりの適切な扱い方を知り、木をいろいろな長さや形に切る。木を切って組み合わせるなどしながら、工夫して表す。

評価

材料や用具を適切に扱い、前年度までの経験を生かし、手や体全体を十分に働かせて切ったり並べたりしながら、工夫して表している姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第1学年及び第2学年「絵や立体、工作」 「ひらいたはこから」（第2学年）

目標 形や色を基に自分のイメージをもち、開いた箱を見て想像したことから表したいことを見付け、形や色を選んだり考えたりしながら、どのように表すかについて考えることができる。

学習活動

開いた箱から想像して、どのようなことを表したいか考え、表したいことを見付け、どのように表すかについて考えたり、友人と伝え合ったりする。

評価

「開いた紙から想像して表したいことを見付け、かいて生まれた形や色などを基に想像し、次々に表したいことを見付けている」などの姿は「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年及び第4学年「絵や立体、工作」「鑑賞」 「花に心をこめて」（第4学年）

目標 つくりだす喜びを味わい、進んで染めた和紙で花を表現したり鑑賞したりする活動に取り組もうとする。

学習活動

場所に合う表したい花になるように工夫して表したり、友人と作品を見合い、いろいろな表し方について感じ取り、見方や感じ方を広げたりする。

評価

観察、対話、ワークシートなどから、児童がつくりだす喜びを味わい進んで染めた和紙で花を工作に表したり鑑賞したりしようとしている姿が捉えられれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第5学年「B 衣食住の生活」（2）調理の基礎

目標 みそ汁の調理について理解し、適切に調理することができる。

学習活動

確認テストに取り組む。
 ≪確認テスト≫
 D子さんのみそ汁の作り方を読み、みそ汁をどうすればおいしくできるかについて、Dさんに理由とともに説明しましょう。

評価

確認テストの記述に、実の入れ方やみその扱い方に加え、みそを溶いて入れることについても具体的に記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第5学年「B 衣食住の生活」（6）快適な住まい方

目標 冬の着方や住まい方の中から問題を見出し、「冬のあったかエコライフ」の課題を設定できる。

学習活動

わが家における冬の着方や住まい方について、「健康・快適・安全」及び「持続可能な社会の構築」の視点から問題を見出し、その理由を考える。

評価

「健康・快適・安全」及び「持続可能な社会の構築」等の視点から、冬の着方と住まい方における「暖かさ」や「明るさ」、「省エネ」に関する問題を見だし、その理由を適切に示していれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第6学年「A 家族・家庭生活」（3）家族や地域の人々との関わり

目標 地域の人々との関わりに関する課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。

学習活動

「感謝の会プロジェクト」の計画を立てた後、計画を工夫するために努力したことを計画・実践レポートにまとめる。

評価

計画・実践レポートの記述から、課題の解決に向けて予算に合うお菓子を検討したり、ゼリーの好みをインタビューしたりするなど、よりよい計画にしようと取り組んだことを記述していれば、「おおむね満足している」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年及び第4学年「C 走・跳の運動」 「高跳び」（第4学年）

ねらい いろいろな場で、足から安全に着地ができるようにする。

学習活動

いろいろな場で、安全な着地を意識して跳んでみる。

- ・段ボール跳び
- ・ゴム跳び

評価

児童を行動観察し、尻餅をついたり手から落ちたりせずに、足からマットの上に着地できている姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第3学年及び第4学年「E ゲーム」 「ゴール型ゲーム（タグラグビー）」（第3学年）

ねらい チームに合った簡単な作戦を選んで取り組むことができるようにする。

学習活動

チームに合った作戦を選ぶための話し合いをし、学習カードに記入する。

- ・センター攻撃作戦 ・交差作戦
- ・サイド攻撃作戦 ・パス作戦 等

評価

学習カードに、一人一人の役割を考えた作戦を選んで記入したり、チームの考えを共有するために作戦ボードを活用しながら友達に伝えたりしていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第5学年及び第6学年「F 表現運動」 「表現（激しい感じの題材で）」（第5学年）

ねらい イメージから思いついた動きを、仲間と助け合いながらできるようにする。

学習活動

小テーマから特徴的な場面や動きをいくつかみんなでやってみる。

- 「自然界の厳しさ」
- ・火山の爆発
 - ・大型台風

評価

児童を行動観察し、誰とでも仲よく活動したり、思いついた動きを仲間にアドバイスし教え合ったり、困っている仲間に声をかけたりする姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

《参考資料》「指導と評価の一体化」ための学習評価に関する参考資料（小学校体育）【国立教育政策研究所】
 埼玉県小学校教育課程指導・評価資料【埼玉県教育委員会】
 令和2年度学校体育必携【埼玉県教育委員会】



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】「書くこと」イ 「We can! Unit 4 『I like my town. 』」（第6学年）

目標 自分たちが住む地域について、相手に伝わるように、そのよいところや願いも含めて、例文を参考に自分の考えや気持ちなどを書くことができる。

学習活動

自分たちが住む地域について、話したことや書きためてきたワークシート、テキストを参考にしながらオリジナルミニポスターを作成する。

評価

ワークシートやオリジナルミニポスターにより、自分たちの住む地域について、そのよさや願い、自分の考えや気持ちなどを表す語句や表現をすべて正しく書いている児童の姿を「十分満足できる状況」と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】「話すこと（やりとり）」ウ 「We can! Unit 2 『When is your birthday?』」（第5学年）

目標 自分のことをよく知ってもらったり相手のことをよく知ったりするために、誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。

学習活動

バースデーカードの相手を探し、相手に配慮しながらカードに書かれていることについてやり取りする。

評価

行動観察により、既習語句や表現を使って誕生日や好きなもの、欲しいものなどを尋ねたり答えたりしているだけでなく、カードにないことも伝え合っている児童の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】「話すこと（発表）」ウ 「We can! Unit 2 『Welcome to Japan.』」（第6学年）

目標 相手によりよく分かってもらえるように、日本の行事や食べ物、自分の好きな日本文化などについて、考えや気持ちなどを話そうとする。

学習活動

日本の行事や食べ物、自分の好きな日本文化などについて、作成したポスターを使い、日本紹介を行う。

評価

Unit 1 での様子も含めて、児童が指導者や友達と話す様子を観察し評価する。例えば、他者の支援を得ながら、徐々に改善し、次の新たな学習につなげている児童の姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】「聞くこと」イ 「Let's Try! 1 Unit 5 『Do you have a pen?』」（第4学年）

目標 文房具などの学校で使う物や持ち物の言い方などの表現を聞くことに慣れ親しむ。

学習活動

世界の子供たちが、鞆の中の物について話している映像を視聴し、その内容を聞き取る。

評価

行動観察やテキストへの記述より、文房具など、学校で使うものや持ち物についての話を聞いて意味が分かっている児童の姿を評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】「話すこと（やり取り）」ウ 「Let's Try! 1 Unit 7 『This is for you.』」（第3学年）

目標 学級の友達に感謝の気持ちを伝えるカードを作るために、相手に伝わるように工夫しながら、色や形など、身の回りの物について、欲しいものを尋ねたりして伝え合う。

学習活動

身の回りの物について、欲しいものを尋ねたり答えたりして集め、学級の友達に感謝の気持ちを伝えるグリーティングカードを作る。

評価

行動観察により、相手の発話に対し、繰り返したり反応したりしている様子や、自分が欲しいものがきちんと伝わるように強調して言ったりしている児童の様子を評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】「話すこと（発表）」イ 「Let's Try! 2 Unit 7 『What do you want?』」（第4学年）

目標 自分のオリジナルピザを工夫しながら紹介しようとする。

学習活動

食べ物カードを用いて、ピザの具材を、やり取りを通して集める。出来上がったピザを見せながら、グループや学級全体の前で話す。

評価

行動観察や振り返りシートにより、工夫しながら、自分のオリジナルピザの具材を伝え合っている児童の姿を評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第1学年「A話すこと・聞くこと」・（1）言葉の特徴や使い方に関する事項

目標 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。

学習活動

スピーチを聞いて、新たに知った事象や行為、心情を表す言葉を「語句手帳」に書き留め、その言葉を適切な用例とともに記入する。使用した語句には印をつける。

評価

事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、使用することで語感を豊かにしており、その言葉を適切な用例とともに「語句手帳」に記入している姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第2学年「C 読むこと」・（2）情報の扱い方に関する事項

目標 文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定の仕方などを捉えることができる。

学習活動

各グループで担当する登場人物を決め、その登場人物の言動に着目して文章を読み直し、登場人物の設定の仕方について考え、ワークシートにまとめる。

評価

文章全体と各段落や場面との関係に注意しながら、担当している「人物像」と「他の人物」との関係について、正確に捉えている姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年「B 書くこと」・（2）情報の扱い方に関する事項

目標 言葉がもつ価値観を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする。

学習活動

読み手の立場に立って自分の下書きを読んで、投書を書くという目的に応じた表現になっているかを確かめ、気が付いたことワープロソフトのコメント機能を用いて入力する。

評価

自分の下書きを読み直して試行錯誤しながら表現を整え、多様な読み手に自分の考えが分かりやすく伝わる表現の検討をしており、特に丁寧に検討しようとしている姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】 地理的分野「C 日本の様々な地域」（3）日本の諸地域

目標 中国・四国地方の地域的特色について、人口や都市・村落を中核として考察し、その考察過程や結果をベン図にまとめることができる。

学習活動

中国・四国地方全体としての地域的特色をベン図にまとめる。

評価

地域における持続可能な地域づくりから、地域的特色をベン図にまとめることができれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】 歴史的分野「B 近世までの日本とアジア」（3）近世の日本

目標 近世の日本を大観して、政治の展開、産業の発達、文化の特色など他の時代との共通点や相違点に着目して、多面的・多角的に考察し、時代の特色を表現することができる。

学習活動

学習を振り返り、前の時代と比較するなどして、近世の社会の特徴的な変化を選び、ワークシートなどにまとめる。

評価

これまでの学習で獲得した知識を単に並べることに留まらず、それらを組み合わせたり、傾向を見出したり、類型化したりして、時代の特色を考察し、その結果を表現していれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】 公民的分野「D 私たちの国際社会」（1）世界平和と人類の福祉の増大

目標 これまでに学習したことを生かし、世界平和と人類の福祉の増大のために日本が果たすべき役割についてグループで協働して考察、構想しようとする。

学習活動

本単元で学んだことを生かして、世界平和と人類の福祉の増大のための自分自身の取組について考察、構想する。

評価

「見通しを踏まえて学習を振り返り、次の学習や生活に生かすことを見出している」「国際社会や世界平和と人類の福祉の増大について関心や問いをもち、その社会的意義を見出している」ことを記述すれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第1学年「A 数と式」（3）一元一次方程式

目標 問題の中の数量やその関係を等式で表し、一元一次方程式を用いて問題を解決することができる。

学習活動

等しい数量の関係を文字で表すことができること、そして、その関係を表した一つ一つの項が何を意味しているかを問う評価問題に取り組む。

評価

等しい数量の関係を捉えて方程式をつくることができているか「おおむね満足できる」状況、加えて、つくった方程式の両辺が何を表しているかを的確に表現することができれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第2学年「B 図形」（2）図形の合同

目標 証明に基づいて問題づくりをすることを通して統一的・発展的に考察し表現することができる。

学習活動

証明した問題の問題文や証明を基にして、新たな問題づくりのレポートを作成する。

評価

仮定や結論を変更することによって問題をつくることができているか、その際どのような統一的・発展的な考察を行っているかを評価する。問題をつくった上で、どのようにしてその問題をつくったかを説明できていれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年「A 数と式」（3）二次方程式

目標 既習の二次方程式の解き方を振り返り、自分の解き方を改善しようとする。

学習活動

全体で共有した意見の中から自分自身にとっての「二次方程式を解く際に気を付けるポイント」を選び、選んだ理由を書く。

評価

他者の考え方によさを見だし自分に取り入れようとするかどうかを評価する。気を付けるポイントとその理由が書かれていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年第1分野（5）運動とエネルギー

目標 身近な物体の運動の様子を調べる実験を行い、記録タイマーを正しく操作する技能と物体の運動の様子を記録して処理する技能を身に付けることができる。

学習活動

力学台車の運動の様子を調べる実験を行ったあと、記録テープを0.1秒間隔で処理し、時間と0.1秒間の移動距離の関係を表す。

評価

実験において記録タイマーを正しく操作する状況が見られ、その後、0.1秒間隔で切り取った記録テープを順に貼り付け、時間と0.1秒間の移動距離との関係を表す様子が見られる場合、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第3学年第2分野（5）生命の連続性

目標 モデル実験を行い、その結果について考察・推論し、探究の過程を振り返って、実験方法や結果の関係を見出だすことができる。

学習活動

前時のモデル実験の振り返りを行う。例えば、実験結果が理論どおりにならないことに注目させ、その実験方法や結果の妥当性を検討する。

評価

試行回数がモデル実験の結果に与える影響に気付いて表現し、遺伝の規則性について考えを深めていけば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第2学年第1分野（4）化学変化と原子・分子

目標 二酸化炭素の中でマグネシウムリボンが燃焼する現象を観察し、酸化銅と炭素の反応における知識及び技能を活用して、その変化を原子や分子のモデルを用いて説明しようとする。

学習活動

本時を振り返り、他者との対話を行い、試行錯誤しながら考えたことをワークシートに記述する。

評価

学習前後を振り返って、対話を通して、試行錯誤しながら課題を解決しようとしており、学習前後の変容を具体的に記述している生徒を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第1学年「A 表現」(3) 創作 及び【共通事項】(1)

目標 音素材の特徴及び音の重なり方の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解することができる。

学習活動

三つの音素材と音の重なり方の特徴を生かして、4分の4拍子、4小節の2声のリズムアンサンブルの音楽をつくり、音素材の特徴及び音の重なり方の特徴と、表したいイメージとの関わりについてわかったことをワークシートに記入する。

評価

音楽をつくる過程において、表したいイメージと関わらせて捉えた「音素材」や「音の重なり方」の特徴を、具体例を挙げながら詳細に記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第3学年「B 鑑賞」(1) 鑑賞 及び【共通事項】(1)

目標 世界の様々な合唱を聴き、その音色、テクスチャを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができる。

学習活動

「ピレンツェの歌」、「アリロ」、「バイエテ」を聴き比べたり実際に歌ったりしながら、音色、テクスチャについて知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、ワークシートに記入する。

評価

聴き取ったこととして音色とテクスチャに関する詳細な記述があり、さらに、感じ取ったこととの関わりについて複数の考えを記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第2学年「A 表現」(2) 器楽 及び【共通事項】(1)

目標 三味線の構造や奏法による音色の違いに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとする。

学習活動

実際に音を出して試すなどして三味線の音色を知覚・感受し、三味線の構造や奏法を知るとともに、三味線を演奏する体験をする。互いに助言し合いながら、基礎的な奏法を身に付け、演奏する。

評価

学習内容に高い関心をもち、積極的に他者と関わりながら、粘り強く取り組んでいる。また、他者からの助言で自己の演奏を高めようとするだけでなく、グループ全体の演奏をより高めようとしていけば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第1学年「作品や美術文化などの鑑賞」

目標 形や色彩などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などを基に、美しさや生命感などを全体のイメージで捉えることを理解することができる。（知識）

学習活動 「花」がテーマの作品を鑑賞

作者の意図や表し方などについて考え、形や色彩などが感情にもたらす効果や全体のイメージで捉えることを理解する。

評価

形や色彩の効果を多様な視点から理解していたり、幅広い視野に立って美しさや生命感などの全体のイメージなどで捉えたりしていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第3学年「目的や機能などを考えた表現」

目標 伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出し、形などが感情にもたらす効果や美しさなどとの調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練ることができる。

学習活動 「ピクトグラムの制作」

- ・伝える相手や施設、場所などのイメージなどから主題を生み出す。
- ・主題を基に、形などが感情にもたらす効果や調和、統一感などを総合的に考え、表現の構想を練る。

評価

伝える対象のイメージから主題を生み出し表現するために、効果等の調和、統一感を多様な視点から考え、伝わりやすい表現の構想を練っていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第2学年「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」及び「作品や美術文化などの鑑賞」

目標 主体的に造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などを考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとする。

学習活動 「身近な風景・場面の撮影」

- ・作者の表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深める。
- ・自分の作品についての説明を記述し、それを用いてお互いの作品を鑑賞し、批評し合う。

評価

作品のよさを捉えようと発言をする姿が繰り返見られたり、ワークシートから意欲的な記述が顕著に見られたりする場合には「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第1学年及び第2学年「B 器械運動」 「マット運動」(第1学年)

ねらい 接転技を滑らかに回ることができるようにする。(技能)

学習活動

技の行い方を示した図解やアドバイスカードを使い、技の練習をする。

- ・前転 ・後転 ・開脚前転
- ・開脚後転 ・補助倒立前転

評価

体をマットに順々に接触させて回転するための動き方と、回転力を高めるための動き方が見られ、一連の動きが途切れることなく回転していれば、「おおむね満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第1学年及び第2学年「F 武道」 「柔道」(第2学年)

ねらい 簡単な試合でのけがや事故の予防を考えて、仲間に伝えることができるようにする。

学習活動

これまでの学習を基に、簡単な試合で起こりそうなけがや事故を予想し、未然に防ぐアイデアを出し合い、学習カードに記入する。

評価

学習カードの内容を見取り、場面に対応した適切な内容が、人的要因・環境要因の視点によって分類整理され、記述されていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年「G ダンス」 「創作ダンス」

ねらい 互いに助け合ったり教え合ったりしながら作品づくりに取り組むことができるようにする。

学習活動

グループ毎の作品づくりを行う。

- 「身近な生活や日常動作」
- ・自分の長所を生かした踊り
 - ・変化をつけたひと流れの動き
 - ・仲間同士で模倣する体験 等

評価

互いの違いを受け入れ、尊重しようとしている姿を観察し評価する。教師が働きかけを行っても、他者の意欲を低下させる発言や行動が継続するなら、「努力を要する」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】「A 材料と加工の技術」（3）社会の発展と材料と加工の技術

目標 これまでの学習した内容を踏まえて、材料と加工の技術の概念を説明することができる。

学習活動

製作品の設計・製作で学んだことを踏まえて、生活や社会で利用されている材料と加工の技術が、どのような条件を考慮して開発・利用されているか説明する。

評価

生活や社会における材料と加工の技術が、使用者や社会からの要求、安全性などに配慮した最適な解決策として開発・利用されていることを説明していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】「C エネルギー変換の技術」（2）エネルギー変換の技術による問題の解決

目標 エネルギー変換の技術を用いて解決する問題を見つけ、課題を設定することができる。

学習活動

災害時にどのような問題が起こるか考え、「電気に関する技術」で解決できそうな問題を選び、解決するためにどのような製品を開発すればよいか、使用場所や条件、必要な機能と性能を考える。

評価

ワークシートの記述から、問題解決のために、使用場面と条件をもとに解決に必要な機能と性能について具体的に述べられていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】「B 生物育成の技術」（1）生活や社会を支える生物育成の技術

目標 進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする。

学習活動

教科書や新聞記事などから生物育成の技術の仕組みや工夫を調べ、興味や関心をもったことやさらにやってみたいことを書く。

評価

感想等の記述から、粘り強く技術を学ぼうとしている側面を中心に、「今まで興味はなかったが…」「もっと知りたい」といったことが述べられていれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業の中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】第3学年「C 消費生活・環境」(1) 金銭の管理と購入

目標 多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理の必要性について理解することができる。

学習活動

模擬家族の物資・サービスの購入について、家庭の状況を踏まえ、各自が購入する物の優先順位や支払い方法を検討し、翌月以降の金銭管理をアドバイスする。

評価

計画的な金銭管理の必要性だけでなく、翌月以降の具体的な金銭管理の方法について記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】第1学年「A 家族・家庭生活」(3) 家族・家庭や地域との関わり

目標 地域の人々との関わり、協働する方法について考え、課題をもって実践計画を工夫できる。

学習活動

地域の活動に関する自分の問題点を挙げ課題を設定し、解決する具体的な取組として、実践する地域の活動の実践計画を立てて、グループで共有し、計画を改善する。

評価

計画の改善点の記述から、高齢者の身体の特徴を踏まえて、地域の人々と協働するための方法や適切な関わり方を具体的に考え、計画の改善点を記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】第3学年「B 衣食住の生活」(7) 衣食住の生活についての課題と実践

目標 我が家の防災対策に関する新たな課題を見付け、次の実践に取り組もうとする。

学習活動

よりよい生活にするために、自然災害に備えるための我が家の防災対策についての新たな課題を見付け、次の実践に向けて考えたことをまとめる。

評価

家庭や地域での実践について、新たな課題を見付けるとともに、改善に向けた意欲だけでなく、これからの活動についても具体的に記述していれば、「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善



➤ 「指導と評価の一体化」のために

指導と評価の一体化を図るためには、児童生徒一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視することによって、教師が自らの指導のねらいに応じて授業中での児童生徒の学びを振り返り、学習や指導の改善に生かしていくというサイクルが大切です。

「知識・技能」

各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況等について評価

【事例】「書くこと」ア 「外国の人に自分たちの学校を紹介しよう（人称及び現在進行形）」（第1学年）

目標 自分が所属している部活動を紹介する記事を書くために、情報カードの内容や写真に写っている人物が何をしているのか、記事に掲載する原稿を書くことができる。

学習活動

情報カードの内容と写真を用いて、部活動を紹介する原稿を書く。

評価

ワークシート等への記述内容により、「与えられた情報に基づいて、人称及び現在進行形の特徴やきまりを理解し、それを含めて文を正確な筆記で書いている」生徒の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「思考・判断・表現」

各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかを評価

【事例】「聞くこと」ア、イ、ウ 「まとまりのある文章の必要な情報を聞き取ったり、概要や要点を捉えたりする」（第3学年）

目標 級友のことをよく知るために、級友の好きな言葉をテーマとしたスピーチを聞き、要点を聞き取ることができる。

学習活動

級友のスピーチを聞いて、要点や工夫点をワークシートに記入する。

評価

ワークシートへの記述内容により「級友のスピーチから、好きな言葉が何で、理由は何かなどの要点を聞き取ったり捉えたりしている」生徒の姿を「十分満足できる」状況と評価する。

学習や指導の改善

「主体的に学習に取り組む態度」

二つの側面から評価

- ①粘り強い取組を行おうとする側面
- ②自らの学習を調整しようとする側面

【事例】「話すこと[やり取り]」ウ 「読んだことについて、事実や自分の考え、気持などを伝え合う」（第3学年）

目標 日常的な話題や社会的な話題について書かれた文章を読み、考えたことや感じたことなどを理由とともに伝え合おうとする。

学習活動

「AIの進歩と私たちの生活」に関する記事を読み、考えたことや感じたことなどをペアで伝え合ったり、質問し合ったりする。

評価

次の①～③の条件を満たしてやり取りしようとしている生徒の姿を「おおむね満足できる」状況と評価する。①読んだ英文を引用しようとしている。②自分の考えたことや感じたことなどを理由とともに述べようとしている。③相手の考えを求めたり、話題を広げたり深めたりしながら対話を継続しようとしている。

学習や指導の改善